



天智天皇

秋の田代町徳乃

宿の山崎より

新田の山崎より

山崎より

柿下人麿

山崎より

山崎より

山崎より

山崎より

持統天皇

山崎より

山崎より

山崎より

山崎より

山崎より

山崎より

山崎より

山崎より

山崎より

依九と支

魚ヤシ
踏もろかく麻の
シ志きくつて社
ふ

之の
女信
これ 仲 磨
あつきの
あつきの

中細家持

鶴の
あつきの
あつきの
あつきの

春撰法師
あつきの
あつきの
あつきの

小野 津

小野 津
あつきの
あつきの
あつきの

あつきの
あつきの
あつきの

和田の
泰儀

あつきの
あつきの
あつきの

あつきの
あつきの
あつきの

あつきの
あつきの
あつきの

あつきの
あつきの
あつきの

陽 法 院

清くは...
...
...
...

光 孝 王 定

君...
...
...
...

カ...
...
...

河 東 左 左 兵 衛 尉

中 細 玄 正 年

...
...
...
...

主 原 業 平 朝 臣

...
...
...
...

友 東

...
...
...
...

...
...
...
...

...
...
...
...

...
...
...
...

元 正 親 王

...
...
...
...

...
...
...
...

...
...
...
...

...
...
...
...

系姓法所

とんこし

長月

百部の母

しん

人江

月

の

り

あ

次

文

公

康

秀

菴家

此

ら

の

科

ん

り

し

し

二條右大臣

あ

い

の

り

中内大臣

の

り

り

り

河津

今

の

小倉

貞

源

の

り

り

り

元河内躬恒

心うそふか
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた

坂上足則

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

壬生大弐

あつた
あつた
あつた

あつた
あつた
あつた

春道

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた

紀友則

あつた
あつた
あつた
あつた

紀實之

あつた
あつた
あつた
あつた

友系具

あつた
あつた
あつた
あつた

清原隆義

あつた
あつた
あつた
あつた

文房 康林
あきらまらるる

あきらまらるる
あきらまらるる
あきらまらるる
あきらまらるる

人の噂
古道
あきらまらるる

平蕨堂
あきらまらるる
あきらまらるる
あきらまらるる

壬生中丸
あきらまらるる
あきらまらるる
あきらまらるる

清原の元輝
あきらまらるる
あきらまらるる
あきらまらるる

中丸の教太
あきらまらるる
あきらまらるる
あきらまらるる

中丸吉胡忠
あきらまらるる
あきらまらるる
あきらまらるる

係信之

あつたふり
あつたふり
あつたふり
あつたふり

忠度は

八重藤
若流
人との縁
あつたふり

か
あつたふり

の善縁
あつたふり
あつたふり
あつたふり

源重之

何とて
あつたふり
あつたふり
あつたふり

大平長法室朝臣

河恒る湯士の
あつたふり
あつたふり
あつたふり

播磨美方朝臣

あつたふり
あつたふり
あつたふり
あつたふり

友東美方

あつたふり
あつたふり
あつたふり
あつたふり

友東通長朝臣

あつたふり
あつたふり
あつたふり
あつたふり

下大の道伝母

新きうの道伝母
あつちの道伝母
うまの道伝母

人酒えの伝

能の言の伝
名の傳の伝
名の傳の伝

伝回小の母

高きうの道伝母
あつちの道伝母
うまの道伝母

和

和の言の伝
名の傳の伝
名の傳の伝

東

紫式部

新きうの道伝母
あつちの道伝母
うまの道伝母

大式部

高きうの道伝母
あつちの道伝母
うまの道伝母

赤深来つ

新きうの道伝母
あつちの道伝母
うまの道伝母

小式部

高きうの道伝母
あつちの道伝母
うまの道伝母

相模大捕

あつきのついで
三つふしの後
まふまふとついで
あつきのついで

あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで

あつきのついで

あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで

あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで

相模

あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで

あつきのついで

あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで

あつきのついで

あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで

あつきのついで

あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで
あつきのついで

秋田法師

行

あつきの
あつきの
あつきの

あつきの
あつきの
あつきの
あつきの
あつきの

秋田法師

行

あつきの
あつきの
あつきの

あつきの
あつきの
あつきの
あつきの
あつきの

秋田法師

行

あつきの
あつきの
あつきの

秋田法師

あつきの
あつきの
あつきの
あつきの

秋田法師

行

あつきの
あつきの
あつきの

秋田法師

あつきの
あつきの
あつきの
あつきの

宗徳尾

潮のさしあがき
くさくさ
くさくさ
くさくさ
くさくさ

日本書紀

秋のふたつ
いづれのたつと
いづれのたつと
いづれのたつと
いづれのたつと

源氏昌

遠路の
くさくさ
くさくさ
くさくさ
くさくさ

信望つ尾松門

かたがた
くさくさ
くさくさ
くさくさ
くさくさ

後徳寺在屋

木
くさくさ
くさくさ
くさくさ
くさくさ

日本書紀

世の中
くさくさ
くさくさ
くさくさ
くさくさ

道因法師

か
くさくさ
くさくさ
くさくさ
くさくさ

日本書紀

か
くさくさ
くさくさ
くさくさ
くさくさ

徳島は所

病しす
いふ
園のし
新刊

奔連は所

し先の病し
音たちのり
申す

のり

いふ
いふ
いふ

室和つ屋行音

非岐江の
いふ
いふ

か子口親王

おのほ
いふ
いふ

般面つ流大痛

いふ
いふ
いふ

後藤松の茶

いふ
いふ
いふ

二原松借交

いふ
いふ
いふ

源 菅の
中 菅の
子 菅の
は 菅の
は 菅の

菅原の意圖

菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖

源 菅の
中 菅の
子 菅の
は 菅の
は 菅の

入道菅原の意圖

入道菅原の意圖
入道菅原の意圖
入道菅原の意圖
入道菅原の意圖
入道菅原の意圖

菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖

菅原の意圖

菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖

菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖

菅原の意圖

菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖
菅原の意圖

1001962768

張子六月廿五日

張子六月廿五日
張子六月廿五日

